

国語

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・大きなイラストや写真を用い、学ぶ喜びを味わわせ、子供たちの主体性を促す教科書
- ・言葉と向き合わせ、確かな「言葉の使い手」を育む教科書
- ・教科書と連動したデジタルコンテンツによって、デジタル時代の子供たちを支える教科書

(2) 教育出版

- ・「学習のてびき」によって、何を学び、どのように学ぶのかが見える教科書
- ・取り組む必要を感じられる課題によって、何のために、何を学んでいるのかが分かる教科書
- ・アウトプットする活動を取り入れることで、他教科や実生活等で、国語科の学びが生きる教科書

(3) 光村図書

- ・言葉による見方・考え方を働かせ、確かな言葉の力を育む教科書
- ・意欲を喚起する学習活動の設定によって、自ら学ぼうとする姿勢を育む教科書
- ・読書単元や振り返り活動の設定によって、国語で学んだことを、他教科や生活に生かす力を育てる教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会で出された主な意見について

- ・第5学年と第6学年に関して、東京書籍と光村図書は年間で一冊にまとまっており、振り返りがしやすい。
- ・東京書籍は、重要語句を説明している文章が理解しやすく、作品リストなどのデジタルコンテンツも充実している。
- ・東京書籍と教育出版は、実際の道具や時代設定など、文学的教材の世界感が伝わりやすい挿絵が入っている。
- ・光村図書は、一部文学作品の中で個性的な挿絵を取り入れている。また、従来よりもデジタルコンテンツが精査されている。
- ・光村図書は、各種学習教材の面白さが際立っている。
- ・第1学年に関して、光村図書は文字フォントが工夫されており、入門時期の児童にとって良い。

書写

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・豊富なデジタルコンテンツによって、手順や動きが分かる教科書
- ・硬筆の中から課題を見出し、毛筆での学びを、硬筆で生かす教科書
- ・豊富な例示によって、書写の学びを他教科や学校生活に生かす教科書

(2) 教育出版

- ・体感的な活動やイラストの提示によって、書写の学びを支える教科書
- ・習得した書き方を基に、発達段階に合った言葉を書くことによって、自ら学びたくなる教科書
- ・教科の関連を例示することによって、学んだことを日常生活で使いたくなる教科書

(3) 光村図書

- ・学習の流れが分かりやすく、書く楽しさや達成感を感じて主体的に学びやすい教科書
- ・書写要素を精選し、段階的・系統的に教材を配列した教科書
- ・日常生活とのつながりを実感できるような学習活動の設定によって、児童が必然性をもって学習できる教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会で出された主な意見について

- ・東京書籍と光村図書は、デジタルコンテンツによる硬筆の持ち方の解説が分かりやすい。
- ・教育出版と光村図書は、毛筆の手本が充実している。
- ・教育出版は、はねやはらいについて、キャラクターの動きのイラストや擬音によって楽しく示されている。
- ・光村図書は、左利きの手本が充実している。また、家庭でサポートしやすい仕様になっている。
- ・光村図書は、第6学年の最後に、自分の字を味わう学習が設定されている。

社会

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・公民としての資質・能力を確かに育て、問題解決学習をわかりやすく進めることができる教科書
- ・多様なデジタルコンテンツを収載し、子供の学びを広げる教科書
- ・重要用語等を明示し、学習の流れをわかりやすく示し、授業づくりをサポートする教科書

(2) 教育出版

- ・対話的な学習を促し、活発な表現活動につなげ、「調べたり考えたりする力」がつく教科書
- ・豊富なデジタルコンテンツが関心や意欲を高め、「主体的に楽しく学べる」教科書
- ・社会に生きる多様な人たちの姿から学び、「社会につながる」子どもを育てる教科書

(3) 日本文教出版

- ・主権者として自らの生き方を問い続けながら、問題解決に向け、本気で学ぶ教科書
- ・交流場면을随所に設定し、主体的・対話的で深い学びを実現する教科書
- ・学習内容とSDGsとの関連について考えを深め、自分ごととして考える教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会で出された主な意見について

- ・東京書籍は、5年生から2冊の分冊となっている。
- ・東京書籍は、キャラクターによる学習の参考になる吹き出しにより、学びを進めやすくなっている。
- ・教育出版は、近隣の都市の掲載があり身近に感じやすい。
- ・教育出版は、文書に対し資料が補足としてあり、読みやすい構成となっている。
- ・教育出版は、資料に着目すべきポイントが示されており、読み取りが円滑に行える。
- ・日本文教出版は、他者にはない題材を扱っていて専門的である。
- ・日本文教出版は、SDGsに関連した記述が豊富である。

地図

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・地図の基本を丁寧に解説し、問いと作業で楽しく地図学習でき、子供が開きたくなる地図帳
- ・様々な場面で活用できる多様なデジタルコンテンツを収録し、他教科でも活用できる地図帳
- ・小学生に適切な情報量で、見やすくレイアウトし、すべての子供が使いやすい地図帳

(2) 帝国書院

- ・正しい国土理解を通じて、国土や郷土への愛情と未来を切り拓くための学びをはぐくむ地図帳
- ・各学年の発達段階に合わせ要素を精選し、すべての子どもが使いやすく親しみやすい地図帳
- ・主体的な学びを促す問いを設置し、デジタルコンテンツにより、資料活用能力を高める地図帳

2 選定検討委員会、調査研究部会が出された主な意見について

- ・東京書籍は、学年の単元に関連する資料がまとまっている。
- ・東京書籍は、社会科の補助教材を意識したつくりとなっている。
- ・帝国書院は、児童が調べた地名や場所が確認しやすい地図となっている。
- ・帝国書院は、玉川上水が比較的に見やすい。
- ・帝国書院は、資料が豊富であり、話題性が高く、学習につながる。

算数

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・デジタルコンテンツの質・量を充実させ、問題との価値ある出会いから深い学びを実現する教科書
- ・吹き出しや補助発問の設定によって、既習を生かして考えることを促進する教科書
- ・学習したことを基に、発展的・創造的に考えることを促進する教科書

(2) 大日本図書

- ・具体的で丁寧な紙面構成によって、思考力・判断力・表現力をのばす教科書
- ・導入や展開を工夫することによって、主体的に学習が進められるようにした教科書
- ・十分な量の練習問題を設けることで、基礎・基本が定着するようにした教科書

(3) 学校図書

- ・身のまわりや、算数の学習の中から、問題を自らの力で見つけるところから学べる教科書
- ・児童の問いが、次の学びにつながるようにした、学びがつながる教科書
- ・問題を解決しながら身に付けた算数の知識が、また生活の中に広がっていくようにした教科書

(4) 教育出版

- ・問いをもつ力を基に、問題発見力、解決力、追究力を育てる教科書
- ・単元後半には、前半で身に付けた見方・考え方を働かせて、学びが深まる教科書
- ・デジタルコンテンツや、既習事項を振り返られる「学びのマップ」によって、学びをつないで確かな学力を育てる教科書

(5) 新興出版社啓林館

- ・問題解決や基礎・基本の定着など、様々な場面でICTを活用して学ぶことができる教科書
- ・リアルとデジタルのよさを生かし、協働的な学びと個別最適な学びを実現できる教科書
- ・家庭学習等の場面で、自律的に学習を進めることができる教科書

(6) 日本文教出版

- ・算数の学習の進め方を明示することによって、算数の学習に期待をもてる教科書
- ・スパイラルな学習過程によって、確かな基礎力を育む教科書
- ・生活や学習への活用場面を充実させることで、身近に算数を感じ、幅広く生かせる教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会が出された主な意見について

- 東京書籍、大日本図書、啓林館は1年生用に薄めの分冊が用意されており、中でも東京書籍の分冊は、数ブロックを置くような活動等がしやすい仕様になっている。
- 東京書籍は、一単位時間の学習の展開が分かりやすくなっているため、若手教員から経験のある教員まで幅広く使いやすい仕様になっている。
- 大日本図書と教育出版は、問題の導入部分に工夫が見られ、経験がある教員にとっては、授業を面白くする一助となる。
- 第5学年に関して、東京書籍と学校図書は上下巻に分かれている。分かれていることで一部カリキュラム・マネジメントに制限がかかるが、児童にとって扱いやすくなっている。
- 各社とも、デジタルコンテンツが充実している。具体的には、啓林館は単元のレディネスチェックに注力しており、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、日本文教出版は、図形や数量関係等の領域で活用が期待できる。
- 東京書籍と学校図書は、「それなら次は」や「つながりの？」といったコーナーが設定されており、主体的な学びを促している。
- 東京書籍、大日本図書、教育出版は、色遣いや文字フォントがすっきりしていて見やすい。
- 啓林館は、巻末付録教材が魅力的である。
- 日本文教出版は、高学年の教科書にスピン(紐)が付いている。

理科

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・学習の流れが見え、児童主体の問題解決学習を実現できる教科書
- ・多くの場面でデジタル教材につなげ、学びをアクティブにする教科書
- ・理科の学習が日常生活や現代的な諸課題へつながる教科書

(2) 大日本図書

- ・問題解決の過程を通して、理科の知識や技能、活用力が身につく教科書
- ・言語能力の育成やプログラミング教育にも配慮し、論理的な思考力が身につく教科書
- ・他教科とのつながりから学びが深まり、豊富な資料から学んだことと実社会とのつながりが感じられる教科書

(3) 学校図書

- ・見通しをもって、主体的に問題解決する力を育てる教科書
- ・知識及び技能が、確実に身につく、活用する力を伸ばす教科書
- ・視野が広がり、多面的に考える力が養われる教科書

(4) 教育出版

- ・児童が自ら「なぜ？」を見つけられるように工夫された教科書
- ・問題解決の流れが明確で、児童の学びが深まる教科書
- ・学んだことがわかり、自分の成長が実感できるので理科が好きになる教科書

(5) 新興出版社啓林館

- ・教科の見方・考え方に着目させ、学習の見通しを持ちやすい教科書
- ・題材の工夫で主体的に学習に取り組む態度を養い、理科を学ぶ意義・有用感を実感できる教科書
- ・基礎・基本の定着を図り、現代的な諸課題を教科横断的に捉える視点を養う教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会で出された主な意見について

- ・全社共通でICTに対応しており、多くの二次元コードが教科書に掲載されている。二次元コードを用いた資料は、天候等に左右されるような事象に対しても映像として見るのでとても有効である。また、教育出版のICTを用いた資料は、多くの子どもにもわかりやすい資料である。
- ・特定の単元を全教科書で見比べ、子どもの発達段階や年間指導計画、掲載方法を考慮した場

合、東京書籍、教育出版が適切である。

- ・東京書籍は、資料が多いが、扱い方が難しい資料もある。
- ・教育出版は、理科を専門とする教員でなくとも授業の進め方等がわかりやすい。
- ・教科書の大きさ、重さについては、現状として教科書を教室保管としているクラスが多いため、問題になることは少ない。紙面が大きい方が、資料が多くわかりやすい。
- ・東京書籍と教育出版を比べると、子どもの興味をもたせるための導入の質問は教育出版の方がわかりやすく、丁寧である。

生活

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・生き生きとしたダイナミックな写真を使って、子どもの「やってみよう！」を喚起する教科書
- ・子どもたちの活動について、やわらかい色使いのイラストで表現した分かりやすい教科書
- ・育成したい資質・能力と指導と評価の視点が見える化して、紙面を構造化した教科書

(2) 大日本図書

- ・ビンゴカードによって、子どもの意欲をさらに引き出し、活動の視点を表現した教科書
- ・子ども自らが学んだことを振り返れるように、直接書き込めるページを設けた教科書
- ・白い背景が多く、シンプルで落ち着いた色遣いを基調にしている特別支援教育に配慮した教科書

(3) 学校図書

- ・単元のストーリーを大切にし、子どもの変容や成長が見える教科書
- ・活動と活動のつながりが見えて、子ども自身の自己評価につながる教科書
- ・記録をもとにした振り返りによって、「がんばった自分」に気づくことができる教科書

(4) 教育出版

- ・キャラクターによる問いかけによって子どもたちの学ぶ意欲を喚起する教科書
- ・動画やデジタル図鑑だけでなく、二次元コードから学習用ワークシートまでダウンロードできる教科書
- ・生活科と他教科をつなげて、身に付けたい知識や技能が習得できる教科書

(5) 光村図書

- ・親しみのあるイラストによって、子どもも大人も読み浸りたくなる教科書
- ・取り外しが可能で、外にも持ち出せる薄型図鑑を収録した教科書
- ・「導入」「展開」「振り返り」という単元構成によって、見通しをもって学びやすい教科書

(6) 新興出版社啓林館

- ・美しい写真の図鑑や音声等も収録されたデジタルコンテンツによって子どもの探究心をくすぐる教科書
- ・単元が、「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」と3段構成で示された分かりやすい教科書
- ・他教科とのつながりを意識して、合科的・関連的な指導を丁寧に示した教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会が出された主な意見について

- ・東京書籍は、町探検のページが充実している。また、おもちゃの作り方が分かりやすく示されている。
- ・大日本図書は、紙面がすっきりしていて、余計な情報を掲載していないことや、いろいろな活動でビンゴカードが紹介されていて子どもの意欲を高める一助となる。
- ・学校図書は、紹介されている観察カードが児童の実態に沿っていることや、おもちゃの作り方だけでなく遊び方までも紹介されていることが工夫されている。
- ・学校図書は教科書に記述欄が多く、自分の成長を振り返ることができる。ワークシートで代用可能だが、記述欄が準備されていると便利。
- ・教育出版は、花や野菜の写真が多く掲載されていたり、クイズの答えが別ページになっていたりレイアウトの仕方に工夫が見られる。
- ・光村図書は、個性的なイラストが強調されている。教科書から切り離して持ち出せる図鑑については利便性が高い。
- ・啓林館は、デジタルコンテンツが豊富にある。また、図鑑の写真が鮮やかで教科書のサイズも小さめであり、持ち運んで調べられ、利便性が高い。
- ・生活科では、教科書に沿って毎時間の授業をするわけではなく、活動が中心となる。図鑑として調べたり、作り方を確かめたりと、活動のヒントとなるように教科書を使うことが多い。
- ・啓林館の教科書は、写真も色鮮やかで、子どももわくわくする教科書である。また、学校図書も、ヒントになる資料が多いため、使いやすい。啓林館や学校図書は、子どもの探究心、学びへの意欲を高める効果を期待できる。
- ・図鑑として外に持ち出すことを考えると、光村図書のように切り離して扱えるのも魅力的ではあるが、教科書サイズが小さめな啓林館や学校図書も、活用が期待できる。
- ・ワークシートが用意されている教科書は、教師が使いやすい。

音楽

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 教育出版

- ・学習の見通しや活動が分かりやすく、主体的・協働的な学びを導く教科書
- ・資質・能力を育みながら、学びが深まる構成や配列となる、系統性のある教科書
- ・日本の伝統文化や、音楽と生活との関りを重視し、一人一人の児童に寄り添う教科書

(2) 教育芸術社

- ・児童の学習意欲を引き出し、魅力ある教材や学習活動により、主体的・協働的な学びを促す教科書
- ・学習の見通しをもった学びを実現し、学習内容が見える化することで、児童が思考しやすい教科書
- ・身の回りの音に関心をもち、音楽的視野や価値観を広げることで、生涯にわたって音楽に豊かに親しむ態度を育む教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会で出された主な意見について

- ・教育出版は、日本から生まれた現代的な楽曲を取り入れているので、児童が親しみやすい。
- ・教育出版は、楽譜や歌詞が読みやすい上に、楽曲数が多く、児童にとって楽しい学びとなる。また、見開きの写真を使用し、印象に残る描写が多く、興味をもちやすい。
- ・教育出版は、指導内容の情報を精査しており、教員にとって指導しやすい。
- ・教育芸術社は、児童に親しみのある曲を取り入れている。
- ・教育芸術社は、情報量が多く、学級担任が指導する場合には指導しやすい。
- ・教育芸術社は、曲数が少なく、一曲あたりで学ぶ内容が豊富である。

図画工作

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 開隆堂出版

- ・「やってみたい」気持ちを大切に、児童にとって楽しく、自主性や積極性を育む教科書
- ・児童が学習の意味に気づき、協働と共生、持続可能な社会への意識を高める教科書
- ・紙の教科書とデジタルコンテンツを一体化し、ICT の活用で学習を支える教科書

(2) 日本文教出版

- ・児童の好奇心や学習への意欲を引き出し、実感を伴った学びを大切にした教科書
- ・対話的な学びを促し、豊かな感性を育むとともに、多様性を尊重する態度を育む教科書
- ・図画工作での学びを、生活や社会、現代的課題や SDGs などに結び付け、持続可能な社会を創造する態度を育む教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会で出された主な意見について

- ・日本文教出版は、写真で授業風景を使用しており、児童が授業をイメージしやすい。
- ・日本文教出版は、道具の使い方の解説が見やすく、分かりやすい。また、活動の流れが分かりやすい。
- ・日本文教出版は複数の児童の写真が多く、開隆堂では一人の写真が多い。
- ・開隆堂は、写真が大きく見やすいが、色遣いなど見づらい部分もある。
- ・開隆堂は、鑑賞が充実している。また、二次元コードや ICT 機器を活用した内容は充実している。
- ・開隆堂は、学習の目当てが单元ごとに設定されている。
- ・開隆堂は、学習に必要な材料が示されていて、家庭で準備する際に分かりやすい。

家庭

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・家庭科の見方・考え方を示し、生活をよりよく変えていく力が身につく教科書
- ・大題材を3ステップで示し、問題解決的な学習を展開できる教科書
- ・各題材で見通しをもち、実践的・体験的に楽しく学びながら、生活の自立を目指す教科書

(2) 開隆堂出版

- ・自分や家族の「生活」を見つめ、生活をよりよくしていくストーリーが見える教科書
- ・キャリア教育との関連を重視し、個人の価値・伝統・文化や他国を尊重し、創造性を培う教科書
- ・他者と協力しながら、家庭科学習を持続可能な生活、地域・社会への参画につなぐ教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会で出された主な意見について

- ・東京書籍は、二次元コードからのリンク先がページごとに分かれていて使いやすい。
- ・東京書籍は、食生活の分野での必要な情報が多く、分かりやすい。
- ・開隆堂出版は、教科書通りに題材を進めることで身に付けさせたい力が付きやすい。
- ・開隆堂出版は、製作の過程で使われている色分けや写真の大きさなど、表記が分かりやすい。
- ・二次元コードは、現在は補助的に使用している。
- ・紙質に違いがある。

体育(保健)

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・健康についての気付きや発見から学習が始まり、課題を「自分ごと」として考えられる教科書
- ・教科書をワークシートのように活用でき、思考判断したことを表現することができる教科書
- ・授業の流れが分かりやすく示され、経験の浅い教員でもスモールステップで指導できる教科書

(2) 大日本図書

- ・巻頭の折り込みを使って、各単元の「つかもう」の下を隠すことで、学習への主体性を引き出せる教科書
- ・自身を肯定的に捉え、生涯にわたる健康の大切さを学ぶことができる教科書
- ・1単位時間の学習が見開きにまとめられており、児童が迷いなく学習に取り組める教科書

(3) 大修館書店

- ・友達と話し合い、互いの考えを共有する対話的な活動が豊富に用意されている教科書
- ・動画だけでなく、シミュレーションやウェブクイズなどデジタルコンテンツが充実している教科書
- ・1単位時間の内容が見開きに3段階構成でまとめられていて、流れが分かりやすい教科書

(4) 文教社

- ・学習のイメージが広がるよう、単元の始めに写真をたくさん使い、見通しがもてる教科書
- ・子どもの目線、思考から捉え、健康になるためにどうしたらよいか、実践へのつながりを意識した教科書
- ・理解すべき知識がまとめられ、考えさせたいことが整理されていて指導しやすい教科書

(5) 光文書院

- ・子ども自身が生活を振り返り、自己の課題を見つけ、課題解決する力を育む教科書
- ・二次元コードの動画以外にも、調べ学習に役立つウェブサイトを示し、主体的な学びを後押しする教科書
- ・1単位時間の内容が見開きにまとめられていて、学習の流れが一目で分かる教科書

(6) 学研

- ・子ども自身が日常を振り返り、生活の仕方から課題を見つけて主体的に学べる教科書

- ・個人差や多様性など、一人一人の違いを尊重し、大切にしている教科書
- ・1単位時間の学習を3段階の流れで構成している分かりやすい教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会が出された主な意見について

- ・東京書籍は、単元の導入において身近な内容から入っており、学習の流れがわかりやすくまとめられていて使いやすい。
- ・大日本図書は、思春期における同性への意識についても触れており配慮されている。また、「ミニちしき」など学びが広がる資料が豊富である。
- ・LGBTQ や「異性に関心がある」ということについて、各社、取り上げ方や標記の仕方は様々だが、大日本図書は、異性だけでなく同性についても触れ、異性を意識する人もいれば、意識しない人もいるという記載をしている。
- ・大修館書店は、デジタルコンテンツが充実している。また、児童が理解し、実践しやすい事例が載っている。多様な児童に配慮した記載の仕方などの工夫が見られる。
- ・大修館書店は、見やすく分かりやすい。写真などで、イメージをもちやすい。
- ・文教社は、大事な言葉が太字になっていてわかりやすく、イラストや写真が見やすい。
- ・文教社のみ、身長の変化について、横向きのイラストを用いており、意図が感じられる。
- ・光文書院は、二次元コードの資料が発展的で興味をひくものが多く、学習のまとめとして知識をしっかり押さえることができるつくりになっている。
- ・学研は、不安や悩みに対する対処が複数示されている。また、何について学び、身に付けるのかが分かりやすい。
- ・保健の学習は、時間数が限られているため、記述欄が多すぎると扱いにくい。東京書籍や大修館書店、光文書院は、学習の段階が紙面の構成から分かりやすい。

外国語(英語)

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・児童の好奇心を刺激し、英語を大好きにさせる教科書
- ・英語で伝え合う力が身につく教科書
- ・児童にとって学びやすく、教員にとって教えやすい教科書

(2) 開隆堂出版

- ・多様な価値観や考え方を紹介し、自己肯定感の育成につなげる教科書
- ・対話を続ける工夫を施し、コミュニケーションによる豊かな人間関係を築く力を向上させる教科書
- ・主体的に学習する意欲を高め、児童が見通しをもって学習に取り組める教科書

(3) 三省堂

- ・自ら目標を立て、協働的な活動を通して、学ぶことを楽しむ心を育てる教科書
- ・「英語で言いたくなる活動」を通して、思考力と確かなコミュニケーション力を育成する教科書
- ・広く言葉や世界に関心を持たせ、相手を意識しながらコミュニケーションをしようとする心を育てる教科書

(4) 教育出版

- ・楽しみながら、無理のないインプットから徐々にアウトプットにつなげる教科書
- ・わかりやすい活動で、「わかった」「できた」を実感できる教科書
- ・デジタルコンテンツで英語に親しみ、学びへの意欲を高める教科書

(5) 光村図書

- ・見通しをもって段階的に学習が進められ、指導と評価の一体化につながる工夫が多い教科書
- ・互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動が充実した教科書
- ・コミュニケーションの目的や場面、状況を理解しやすく、様々な場面や状況と関連付けた指導のできる教科書

(6) 新興出版社啓林館

- ・言葉を使うための知識がしっかり身に付く教科書
- ・たくさんの考える場面に出席わせながら思考力を養う教科書
- ・多様な文化や考えを理解し、他者に配慮する心を育む教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会が出された主な意見について

- ・各単元のゴールがわかりやすく、4技能がバランスよく配置されているのは教育出版と東京書籍である。また、この2社は文字の大きさもちょうど良い。
- ・文字を使わずにどうやって英語に親しませるか、会話の例などがわかりやすいかを見比べると、光村図書はすぐにその例がわかりやすい。またデジタル教科書に導入用アニメが掲載されていて、外国語の指導が苦手な教員が見ても活動がわかりやすい。
- ・デジタル教科書を見たとき、東京書籍の教科書にあるチャンツは児童もリズムにのって学習しやすく、英語が得意な児童にとっては自分の興味関心によって学習を進めることができる。
- ・光村図書の教科書は、多くの先生にとって授業のよいテンポを保ちやすいつくりとなっている。

道徳

1 教科用図書発行者の編修の趣意について

(1) 東京書籍

- ・一時間の学習で考える発問を2つに絞り、道徳的価値について深く考えることができる教科書
- ・道徳で学習する領域に加え、現代的な課題に目を向けた教材やユニット編成をしている教科書
- ・全教材に、デジタル紙芝居と音声などを用意し、個別最適な学びを支援できる教科書

(2) 教育出版

- ・児童が学びたくなる新しい教材や、魅力ある多種多様な教材がある教科書
- ・授業展開に合わせ、2種類の学びを準備することで、考え、議論する道徳授業をつくる工夫のしやすい教科書
- ・ガイダンスや学習の振り返りを活用し、児童が自らの成長を実感することができる教科書

(3) 光村図書

- ・道徳で「何を学ぶのか」「どうやって学ぶのか」を意識し、主体的な学びを支える教科書
- ・「教材との対話」「他者との対話」「自分との対話」を意識し、対話から生まれる気づきを楽しむことができる教科書
- ・現代的な課題として重要な「いじめ問題」「情報モラル」等を取り上げ、教材とユニットで課題と向き合うことができる教科書

(4) 日本文教出版

- ・自分のよさを見つめ、周りの人を大切にする力を育むことができる教科書
- ・児童が学習に取り組みやすく、学び・考えたくなる紙面構成があり、学びを広げ、深めることができる教科書
- ・現代的・社会的課題を協働して解決していこうとする力を育む教科書

(5) 光文書院

- ・学習の流れを視覚化し、児童が見通しをもって主体的に学習し、深く考えることができる教科書
- ・考えを広げたり深めたりするための視点をもてるようにし、答えが一つではない課題を考えることができる教科書
- ・「情報モラル」「いじめ」「持続可能な発展」など現代的な課題に向き合うことができる教科書

(6) 学研

- ・自ら考え、友達、先生、家族、地域とつながり、出会い、交流しながら考えを深められる教科書
- ・現代的課題や他教科等と関連させ、多面的・多角的に考えることができる教科書
- ・よりよい未来をつくるために大切なことを、多くの視点から系統的に学ぶことができる教科書

2 選定検討委員会、調査研究部会が出された主な意見について

- ・東京書籍はデジタルコンテンツ（朗読・紙芝居・心のメーターなど）が充実している。場面絵をそのまま授業で活用できる。
- ・教育出版は、文字が小さく、説明文のような形が多い。
- ・光村図書は、フォントが多様である。4年生まで評価シールが設定されている。
- ・日本文教出版は、すべての教材に朗読動画があり、二次元コードから読み取れる。また、アニメーションや心情メーターが充実している。「道徳のとびら」として、道徳の内容が児童にとって分かりやすく説明されている。別冊のノートがある。
- ・日本文教出版は過去からの作品（教材）が入っており、安心感がある。
- ・光文書院は、人の生き方を通して、自分事として考えやすい教材が多い。見開き2ページで教材がまとまっている。学習の流れのページがあり、児童が道徳にどう取り組むかが分かりやすい。40の教材を所収している。1つの教材に対し、4つの発問を設定している。
- ・光文書院は発問が設定されており、教員が指導しやすい。
- ・学研は、様々なマークが出てくる。また、教材ごとのイラストの差が大きい。